

平成28年熊本地震における支援活動について「感謝状」をいただきました。



左) 嘉島町社会福祉協議会  
会長 荒木 泰臣氏 (町長)  
右) 本会会長 植田 和俊  
た 援 社 嘉 本 年 行 の 上 げ  
だ り 活 協 島 年 10 月 12 日、  
き 動 協 町 12 日、  
ま 活 議 会 会 長  
さ 動 の 支 援 活 動 を  
い 状 活 動 支 援 活 動 を  
を にお の 支 援 活 動 を  
い け 支 援 活 動 を  
た だ ぎ ました。

平成28年4月14日、16日に発生した平成28年熊本地震において、徳島県及び市町村社会福祉協議会をはじめとした、四国各県市町村社会福祉協議会は、熊本県嘉島町災害ボランティアセンターに職員を派遣し、災害ボランティアセンターの立ち上げや運営等の支援活動を行いました。



とくしま  
福祉広報

188号  
december.2016

社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内  
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250  
e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/

災害ボランティアセンター体制整備支援事業

本会では、市町村社会福祉協議会と共に災害時における災害ボランティアセンターのマニュアル作成や普及・啓発、人材育成等を進めており、本年度は県内4市町で災害ボランティアセンターの設置・運営の体制づくりや地域の多様な職種・機関との連携や支援活動体制の構築に取り組みました。

阿波市

災害ボランティアセンター  
福祉避難所運営訓練

- 開催日  
平成28年  
7月30日(土)
- 場所  
すみれ園
- 参加者  
阿波市社協、  
共生会 すみれ園、  
かがやき、阿波市、  
市町村社協、  
高校生、自治会等(延べ175名)



美波町

南部ブロック災害ボラン  
ティアセンター運営者研修

- 開催日  
平成28年  
11月13日(日)
- 場所  
美波町立日和佐  
公民館3階  
大集会室
- 参加者  
阿南市社協、  
美波町社協、海陽町社協、牟岐町社協、  
那賀町社協、県の各社協職員(延べ90名)



吉野川市

吉野川市社協災害ボラン  
ティアセンター設置訓練

- 開催日  
平成28年  
11月13日(日)
- 場所  
吉野川市社協本所  
吉野川市ふるさと  
センター
- 参加者  
吉野川市社協、  
阿波市社協、弁護士  
会等(延べ36名)



東みよし町

西部ブロック合同訓練

- 開催日  
平成28年  
12月3日(土)
- 場所  
東みよし町  
社会福祉協議会
- 参加者  
東みよし町社協、  
美馬市社協、三好市  
社協、つるぎ町社協、県西部総合県民局、各関係機関等  
(延べ109名)



ボランティア・  
NPOの情報紙  
37号 december.2016

とくしま県民活動プラザ

770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地  
沖洲マリンターミナルビル1F  
tel:088-664-8211 fax:088-664-5345  
e-mail:info@plaza-tokushima.com  
http://www.plaza-tokushima.com  
http://www.tokuvjc.jp



マスコットキャラクター プラザ

今回の「ひと」は、ダブル特集!! 2つのNPO法人を紹介します。



NPO法人眉山大学  
外国人ボランティアのみなさん

3ヵ月間徳島に滞在し、徳島市中心部にある「とくしままちなか花ロード」の花壇の整備をされました。夏の日差しのきつい中、花の水やりや除草作業をしていると、子ども達から高齢者の方まで、たくさんの人に「おつかれさま」「ありがとう」と声をかけられてうれしかったそうです。「とくしまが好き」とおっしゃっていました。



NPO法人「眉山大学」

2011年秋に開校、様々なイベントへの参加を通じて、町おこし・地域の再生・活性化に力を注がれています。

NPO法人  
「大きなエプロン」

地域に密着した多機能共生型の居場所をつくり、世代を超えて根付く活動をされています。

特集 NPO法人眉山大学  
「とくしまのまちそのものがキャンパス」  
NPO法人 大きなエプロン  
「地域に密着し、世代を超えて根付く活動を」

シリーズ・このひとから  
阿波勝浦元祖ビッグひな祭り  
NPO法人 阿波勝浦井戸端塾  
塾長 稲井 稔さん  
わたしがはじめて携わった行事  
社会福祉法人 神山町社会福祉協議会  
主事 川村 桃香さん

ハートリレー  
No.37 大林さんから阿部さんへ

New face 特定非営利活動法人 花見山  
心の手紙館 アドバイザー/理事 中野 シゲ子さん



**まちで学び まちを遊ぶ**

はせがわ しんり  
理事長 長谷川 晋理さん



閑散とした東新町商店街。商店組合がイベント等をやっても定着しない。「なんとかしたい」、「徳島市中心部を元気にしたい」。この思いから、5年前の秋、10人で立ち上げた眉山大学。眉山の麓にある地域を活性化することを目的に設立したことから、眉山大学と命名しました。

人が集まれば、まちがにぎわう。ショッピングだけではなく、そのまちに行けばおもしろい、笑いがある。さらに、学びの場があり、人とつながることもできる。そういう所にしたいと考えるようになりました。まちを視点を変えて見てみると、それぞれの道の専門家が、たくさんいる。その方たちに講師を務めていただければ

学べる場ができる。すると、「人が集い、仲間ができる」と思ったのです。こうして、眉山大学としての活動を広げていきました。

最近では、吉野川フェスティバルに「エコランド」を設けたり、まちのイベントに際して餅つき大会を開催したりしています。餅つきには、老若男女が集い、まちに活気が戻ります。

1年前から、外国人ボランティアとともに、「まちなか花ロード」の整備も行っています。夏には朝夕の水やりを欠かさずしました。花の世話をしていると通りすがりの人が、声をかけてくれます。花は人を引き寄せる力をもっていると実感しました。

これからも様々なイベントに積極的に関わり、とくしまのまちを元気にしていきたいです。

**書道で活気あるとくしまのまちに**

こうじまりこ いしかわしょうこ  
書道部 梶 真理子さん(左) 石川 翔子さん(右)

四国大学書道クラブの書道パフォーマンスを見たとき「ビビッ」ときました。座って静かに書くというこれまでの書道に対するイメージがガラッと変わりました。格好いい。目立つ。周囲の人に見られて快感を感じる。そして、何より、みんなで一つの作品をつくる喜びを味わえる。私たちは、書道パフォーマンスに魅了されました。そして、大学時代に思う存分、書道に打ち込むことができました。社会人となり書道に充てる時間がだんだん減っていく中で、書道パフォーマンスを通して人に感動を与えたり、地域を元気にしたりできないかと考えるようになりました。そんな時、長谷川さんと出会いました。「東新町商店街で書道パフォーマンスをしてその作品を飾ってほしい」という依頼を受けてから、眉山大学の活動に賛同し、眉山大学書道部を結成しました。今年で3年目になります。これまでに、新町川の寒中水泳大会やマチ★アソビでもパフォーマンスを披露して、たくさんの人に楽しんでもらいました。とくしまマラソンの後夜祭では、東日本大震災からの復興を願い、「がんばろう日本」と書いた垂れ幕にランナーの方々からメッセージをいただきました。これからも書道で活気あるまちづくりに挑戦していきたいと思っています。



**まちに繰り出し 一期一会の人たちに**

はせがわ あり  
図書部代表 長谷川 亜里さん

NPO法人眉山大学図書部では、「マルシェライブラリー」を開いています。青空の下、新町川水際公園で読書を楽しんでもらう活動です。マルシェの開催に合わせて、ライブラリーをオープンすると、多くの方が本を手にとくれます。

狸祭りなど徳島市中心部でイベントがあると徳島市立図書館の来館者が増え、どのフロアも読者でいっぱいになると聞いたことがありました。それならば、図書をイベント会場に持ち出して図書館を開設すれば人が集うと思い、取り組みました。実際にやってみると、若者から親子連れなど、たくさんの方が借りに来てくれました。開催するまでに選書会を開き、どの本を選べばよいか話し合いを重ねます。テーマを決めて本を集めたり、逆にトートバッグに3冊を入れておき、借りてみてのお楽しみという偶発的な本との出会いを演出したり、いろいろな案を出し合って本を選んできました。次回のマルシェライブラリーを楽しみにしていただきたいと

思います。

もう一つは、「名刺代わりの一冊」という活動です。初対面では、名刺交換するのが普通ですが、このイベントでは、自分の愛読書や自分らしさを表現できる一冊を紹介します。読書愛好家が本を介して交流を深めることができます。不定期ですが、市内各地で開催しています。

「人と人がつながる」、これは、まちづくりの重要な要素です。図書を通じてあらゆる人をつなぎ、地域を活性化していきたいです。



**NPO 法人 眉山大学**  
理事長 長谷川 晋理

〒770-0912  
徳島県徳島市東新町1丁目23 chuchu churros cafe 内 TEL : 070-3960-6161  
HP : <http://bizandaigaku.net> E-mail : [jimu@bizandaigaku.net](mailto:jimu@bizandaigaku.net)

**地域に密着し、世代を超えて根付く活動を  
NPO 法人「大きなエプロン」**



NPO法人「大きなエプロン」は、平成18年6月に法人となりました。団体としては、平成14年から地域の助け合い活動をされていました。そして、平成16年に「お弁当を作って困っている人に配達しよう」ということになりました。最初は、冷めるとおいしくなくなるものしかできませんでした。

そこで1年間、コミセンで試作を続けて、冷めてもおいしいお弁当を作ることができるようになりました。スタートした時は週1回でしたが、週3回に増やすことができました。

また、平成20年には、味付け担当、仕入れ担当、配達担当などの役割分担ができるようになりました。

一方で、平成18年から体操教室も始めました。「私が行ってじゃまちゃうかな?」「今さら?」という人たちを引っ張り出しました。現在、週2回が2ヶ所、週1回が7ヶ所の計9ヶ

所で介護予防の一環として体操教室を開いています。

さらに、法人として宅老所も運営。理事長と一緒に生活をして、介護が必要な高齢者のお世話もしています。また、生活支援で、草刈りのお手伝いをしてくれるボランティアもいます。



**将来、私が受けてみたい  
支援の場所作りを**

てがわ  
理事長 手川 ヒロコさん



「私は使い走り」しかし、お手伝いして下さるみなさんの少しでも力になればと思っています。おせちの配達にチャレンジしたり、6kgのブリをさばいたりしたこともあります。

最近、とくしま住民参加型在宅福祉サービス連絡会の幹事としても活動しています。私が将来、してほしいような生活支援をしてもらえる場所を作りたいと考えています。



## NPO 法人「大きなエプロン」で活動されているみなさんを紹介합니다!



### 温かさの残るお弁当

はやし たかゆき  
林 孝行さん

平成18年からお弁当の配達を担当。「大きなエプロン」のお弁当の魅力は、自然な薄味。若い人は、長続きしない場合もありますが、優しいお年寄り向きのお弁当です。1度に、10~15軒程、配達します。近所の高齢者は、温かさの残るお弁当を手にして、笑顔を見せてくれます。



### 体操教室と脳トレに取り組み

みかね はるこ  
三金 治子さん

平成19年から体操教室の看護師として、応神町から通っています。元々、佐古では太極拳をやっており、四国大学の范先生にお世話になりました。



住んでいる地域では婦人会、敬老会にも携わっています。体操教室に関わったきっかけは、加茂名町で介護予防リーダーの講義を受講したとき、学習内容を地域に還元してくださいと言われ、始めました。"脳トレ"にも取り組んでいます。脳トレは、応神町のコミセンに「できます」と言うと、「やって」と言われたのがきっかけで、現在、3ヶ所でおこなっています。同じ徳島市内でも地域性があり、特に力を入れなくても参加者が多い地域や、もっと足を運んでほしいと思う地域があります。

インタビューを終えて

地域の支え合い活動を担っている「大きなエプロン」では現在、お弁当担当3人、体操担当9人、木を切る人1人、他に会員12、3人の方が活動されています。みなさん「たくさんの方が参加してくれると更に活動が活発になる」とおっしゃいます。最近、幟町に1日300円で過ごすことができるサロンを開設した手川さんは「食事会(おしゃべり会)もしようかな」と話していました。

NPO 法人  
大きなエプロン  
理事長  
手川 ヒロコ

〒770-0028  
徳島市佐古八番町3番10号  
TEL: 088-624-0786  
FAX: 088-635-6117  
E-mail: ookina-apron@mb.pikara.ne.jp

### 地域にお返しをしたい

わたなべ かよこ  
渡辺 加代子さん

平成21年12月に家族の介護のために徳島市に引っ越してきました。「家族がお世話になっているので、地域にお返しをしたい」という思いから、「大きなエプロン」の活動に携わるようになりました。主に仕入れ、献立の立案等を担当しています。いただいた食材には、いつも感謝。お客様の「ちょうどよい量」「まだ温かい」と言うことばに励まされます。



### 調理は慎重に丁寧に

いのうえ みよこ  
井上 美代子さん

活動を始めて10年になります。徳島市の広報紙に、「大きなエプロン」のボランティア募集が載っていたことがきっかけになりました。当時は勤めに出ていましたが、ふつと電話すると、「来てください」と言われ、それからお手伝いを続けています。調理には慎重に丁寧に取り組み、衛生面には十分に気をつけ、食材を切ったり味付けをしたりしています。



### ピンピンコロリを目指す

よしもと えりこ  
吉本 栄里子さん

元々、大阪で振り付けをしていました。結婚後、お弁当作りに来るようになりました。現在は、体操教室の指導者をしています。ストレッチ、筋トレ、ロコモ体操などを教えながら、みなさんに運動してくださいとアピールし、ピンピンコロリを目指しています。



## 阿波勝浦元祖ビッグひな祭り

NPO法人 阿波勝浦井戸端塾  
塾長 稲井 稔

“子どもたちに夢を”で、立ち上がった「ビッグひな祭り」。町の活性化をめざし飾られなくなったひな人形でおひな様の百段飾りを考案。昭和63年4月に町体育館で2日間開催したのが始まりです。回を重ねるにつれ、巨大ひな壇、斬新なひな飾り、「人形を供養し、ひな人形飾りをしてもらえ」との話題が広がり、県内外から来場者も急増しました。

第4回から「阿波勝浦井戸端塾」が引き受け、第17回から、現在の“人形文化交流館”で開催しています。会館には、メインとなる中央ピラミッド型ひな段(高さ8メートル・四面各段25段で計100段)をはじめ、それを囲むように東西南北に小型ピラミッドひな段を配置



し、一段と優美で豪華

### 稲井 稔

元祖ビッグひな祭り実行委員会 理事長、勝浦町老人クラブ連合会会長、勝浦町社会教育委員長、徳島県退職公務員連盟副会長、元勝浦町教育委員会 教育長、元県立高等学校 教師・野球部監督、元保護司



絢爛さを表現しています。また、ひな祭りがマンネリ化しないよう“おひな様の銀婚式”“ひな人形に贈る言葉”等々、毎年工夫を重ねています。

今年度実施した「全国ひな祭りサミット in 勝浦」では、全国から大勢の方々に参加して頂き、盛大に開催できました。ビッグニュースは、リオ五輪、パラリンピック期間中、リオ市のジャパンハウスにひな人形を展示し、世界に人形文化を発信できたことです。

世界一を誇る「元祖ビッグひな祭り」は、現在社会の忘れがちな貴重な文化遺産です。親から子へ、子から孫へと受け継いでほしいものです。

平成29年2月19日より4月2日まで人形文化交流館で開催を予定しています。ご来場をお待ちしております。

## わたしがはじめて携わった行事

社会福祉法人 神山町社会福祉協議会 主事 かわむら ももか  
川村 桃香

今年の春から神山町社協で働き始めて約半年が過ぎました。季節ごとの行事や事業の多さに驚きながらもめぐるしい日々を送っています。

そんな中、私が一番はじめて携わった行事は「こどもお楽しみクラブ」でした。これは、私たちが地域の子ども達に楽しんでもらえる場を企画し、春・夏・冬と年に3回開催しています。地域の子も達や両親、祖父母も参加し、ピザ作りや流しそうめん、空気砲作りなどに挑戦しています。今回は「手作りパフェと絵本の読み聞かせ」を行いました。準備、進行など大変でしたが、「美味しかった」「楽しかった」という声が聞こえた時はとても嬉しく思いました。

しかし、ただ楽しみ交流するだけではなく、そこから「きっかけ」や「繋がり」ができる場であると思えました。子どもだけでなく、両親、祖父母も参加されています。こういった行事をきっかけに、まずは社会

福祉協議会を知っていただけたらと思います。そして、私たちも地域のことを知る場とし、お互いの顔が見える関係づくりを築かなければなりません。

次は冬に子どもお楽しみクラブを行います。多くの子ども達と楽しい時間を共有し、地域との繋がりを構築していきたいと思っています。



お楽しみクラブ

## イベントガイド

### ぷらざタウン開催

子どもたちが生き生きとはたらくまち「ぷらざタウン」を開催します。

子どもたちが社会貢献活動団体の方たちから仕事を教わり、いっしょに生き生きとはたらくことにより、活動の内容及重要性を学びます。ぜひ遊びに来てください!!

開催日時：平成29年2月26日(日)

場所：沖洲マリンターミナルビル

内容：NPOボランティア活動体験(ステージ発表・製品販売等)

主催：認定NPO法

人とくしま県民活動プラザ・社会福祉法人徳島県社会福祉協議会・徳島市市民活力開発センター



## お知らせ

### とくしま県民活動プラザ登録団体の皆様へ

団体登録に変更があった場合には、団体登録変更の手続きをお願いします!

~以下の登録内容に変更がありましたら、変更届をご提出ください~

#### 1. 団体・代表者関係

①団体名 ②代表者名 ③所在地 ④電話・FAX番号など

#### 2. 連絡担当者関係

①連絡担当者名 ②担当者住所 ③担当者電話・FAX番号など

変更届は、とくしま県民活動プラザ窓口においてあります。プラザホームページからも変更届様式をダウンロードできますので、ご利用ください。変更届について、太線枠内の記入は変更箇所のみで結構です。

特に、法人設立された場合や事務局変更があった場合は、再登録が必要な場合もありますので、忘れないようご注意ください。詳しくは、とくしま県民活動プラザ事務局までお問い合わせください。

### 「成人歯科健診を推進しています」

一般社団法人  
徳島県歯科医師会  
徳島市北田宮1-8-65  
電話 088-631-3977

ホームページ



## ハートリレー

No.37 大林さんから阿部さんへ



四徳通第2号 NPO法人こやだいら 過疎地有償送迎車  
NPOこやだいら 理事長 あべ よしのり 阿部 義則さん

### 山間へき地での 団結・絆・支え愛!

徳島県美馬市木屋平は剣山の北側斜面に面する山あい集落が点在しています。

自家用車では最寄りの穴吹駅まで50分、徳島市の中心部までは1時間30分を要します。公共交通機関は1日数本のバスしかありません。人口は689人、高齢化率は56% (平成28年3月31日現在) となり典型的な過疎高齢化が進む山間へき地です。

木屋平地域のネットワークとして、①総合支所(保健・福祉)②診療所(医療)③社会福祉協議会(生活・介護)④NPO法人こやだいら(有償送迎・生活支援)⑤NPO法人山の薬剤師たち(医療・介護)があります。

阿部さんはNPO法人こやだいらの代表を務められております。NPO法人こやだいらは7事業を行っております。有償送迎事業として住民自らがバスの利用できない高齢者の買物や通院を支援されています。また、農作物の収穫や清掃活動など高齢者がお一人で行えない作業の支援や防災活動として訓練を住民に呼びかけて行われています。

阿部さんの力強い言葉一つ一つが私を含め地域住民の励みとなっているのです。



おおはやしりてき 文・大林秀樹



## 特定非営利活動法人 花見山 心の手紙館

### ■ 設立について

館長が東日本大震災後、自分ならどういった活動が出来るかと考えながら被災地に約3ヶ月後に訪れたとき、ボランティア活動をしている方を見て人と人の繋がりが非常に大事であると実感しました。未来に届く手紙で絆を大切にしたいという思いから「花見山 心の手紙館」を設立しました。



アドバイザー/理事  
なかの 中野 シゲ子さん

### ■ 現在の主な活動

鳴門海峡・大鳴門橋や淡路島などが一望でき、春に咲き誇る350本のしだれ桜や四季の花木に囲まれている館内で、自分が書いた手紙を1年から5年後の希望する時に、未来の自分や家族、大切な人などへ届ける「手紙のタイムカプセル便」を行っています。

現在はパソコンや携帯電話の普及でメールを出すことが増え、自筆で手紙を書いて送ることが少なくなってきましたが、自分で書くことによって相手に想いが伝わります。文字や文章を書くのは苦手と言う方もいらっしゃいますが、そこは関係なく飾らないで、思いのままに書いた手紙だからこそ、価値があるのです。

### ■ これからのビジョン

小学校6年生を対象に、自分の将来の夢や抱負を書いてもらい1年から6年後に届ける「卒業記念便」を行っています。その手紙を通じて、子どもたちの夢や希望を発信していきたいです。また、子どもに限らずすべての方に手紙を書くことによって意義や生きがいを見出してもらおうと共に、一人でも多くの方に感動を届けたいです。



### 特定非営利活動法人 花見山 心の手紙館

法人格取得年月日 / 2015年11月6日  
〒772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字大毛 234番35号  
TEL: 088-687-3555

## とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(認定特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

●プラザ開館時間  
開館時間: 10:00~18:00  
【研修室利用時間】  
火曜日~土曜日: 10:00~21:00  
日・祝日: 10:00~18:00  
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



### ● 公共交通機関をご利用の場合 ●

JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、  
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ  
・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

## 編集後記

プラザに来て8か月が過ぎました。諸先輩方が築いてきた「プラザ」に対する皆様の信頼を裏切らないよう、そして、さらに愛され頼りにされる「プラザ」を目指し、職員一同業務に励んでいます。

ここに来られる方々は「活気にあふれ、人にやさしいまちづくり」の実現のため、多様な活動に積極的そして常に明るく取り組んでいらっしゃいます。

「人の役に立ち感謝されることが、私の人生の喜びです」という言葉をさらりと仰る人生の達人たちと、ポケモンが数多く出現する「マリンピア沖洲」に皆様ぜひお越しください。ただし、交通ルールは守ってくださいね!(大貝 誠治)

### 徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人  
徳島県医師会  
会長 齋藤 義郎  
徳島市幸町3丁目61番地  
TEL 088-622-0264

CLEANUP 吉野川をきれいに!  
参加団体、募集中。

吉野川交流推進会議  
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地  
県民環境政策課内  
TEL 088-621-2743  
FAX 088-621-2758  
E-mail office@yoshinogawa.org/  
http://www.yoshinogawa.org/

# 地域生活支援と私



徳島県立障がい者交流プラザ  
視覚障がい者支援センター

支援員 しばたか 薫  
かおる

私は、大学時代に手話サークルで手話と出会い、手話に魅了されました。そして、ボランティア活動を通してたくさんの人と出会い、学んだことが、卒業後の進路として、福祉の仕事に携わる原点となりました。

社会人になってからは、高齢者福祉施設や障がい者福祉施設での経験によって、利用者が笑顔あふれる日々が過ごせるように常に利用者の立場に立って支援をする大切さを学びました。

昨年度から自立と参加のまちづくり事業の人材コーディネーターとして、徳島県立障がい者交流プラザ視覚障がい者支援センターで手話通訳者や要約筆記者の派遣及び連絡調整を行っております。特に、地域生活に必要なコミュニケーション支援をすることによって、手話を言語とする聴覚障がい者の方が、社会参加できるように利用者のニーズに基づき、効果的に適切な派遣コーディネートをし

ています。また、イベント等の手話通訳も同様に対応しております。

利用者の高齢化も進み、医療場面での依頼も増加しています。また、以前と違い、利用者のニーズも多様化しています。しかし、実際に平日などに対応できる人材が不足しており、限られた中でコーディネートをしなければならない状況です。

また、通訳派遣現場や派遣依頼



時に話をしていると、利用者の取り巻く生活環境の中で、ご近所とのトラブルなどの問題が潜在しているケースがよくあります。

た場合は、音声情報が主流となり、情報取得がなかなかできません。ご近所や地域の人たちに協力してもらうことは、不可欠です。

派遣現場が点とすると、その点を線で結ぶ支援ができるようにコーディネーターとしては、問題解決のために、必要な関係機関や団体につなぎ、コミュニケーション支援をします。

これからも、聴覚障がいについて、より多くの方々に理解を深めてもらい、聴覚障がい者の方々が、いきいきと暮らしやすくなるように、頑張っていきたいと思っています。

徳島県では、4月から障がいのある人もない人も支えあひながらの実現を目指す「障がいのある人もない人も暮らしやすい徳島づくり条例」が施行されました。



## 徳島県内社会福祉法人による災害時の支援活動

～一人ひとりが、互いに支え合い、地域で安心して暮らせる社会福祉の実現を目指して～

平成28年10月21日（金）に鳥取県中部を震源とする震度6弱の地震が発生しました。

このため、鳥取県社協と倉吉市・湯梨浜町・北栄町・三朝町の1市3町において、災害ボランティアセンターを開設し、生活支援や物資・家屋の整理などの被災者支援の為にボランティア活動が開始されました。

被災地では混乱が続いている状況のなか、各災害ボランティアセンターの運営を進めることのできる運営支援者が不足している状況も踏まえ、鳥取県社会福祉協議会と災害時相互支援協定を締結する本会に依頼があり、市町村社協と共に職員派遣を実施しました。

現地では、社会福祉協議会として、被災者に寄り添った災害ボランティア活動が安全、かつ最大限に発揮されるように、被災地住民や関係機関等と連携を図りながら要援護者への支援を行いました。今後も被災地の1日も早い復旧・復興をお祈りしています。

- ・現地活動機関：平成28年10月27日（木）～11月13日（日）（計10名）
- ・活動場所：鳥取県倉吉市災害ボランティアセンター鳥取県倉吉市上灘町9-1 倉吉市上灘公民館（TEL0858-22-9801）
- ・災害内容：災害ボランティアセンター運営等被災者・要援護者に寄り添い支援するマネージャーとマッチングや個人の状況や意向等を迅速に把握するニーズキャッチ等



**預託** ●株式会社マルナカ徳島店様より、社会福祉協議会等へ日用品のご寄贈 ●徳島県阿波牛販売推進協議会様より、児童養護施設へ阿波牛肉のご寄贈 ●公益財団法人徳島県生活衛生営業指導センター様・徳島県料理業生活衛生同業組合様より、特別養護老人ホーム蓬菜荘へそば打ち体験と試食のご提供 ●公益財団法人徳島県生活衛生営業指導センター様・徳島県理容生活衛生同業組合様より、社会福祉法人池田博愛会池田学園へ散髪のご提供 ●損害保険ジャパン日本興亜株式会社様・AIR オートクラブ徳島支部様より、障害者支援施設すみれ園へ車椅子整備清掃ボランティアのご提供 ●日本中国料理協会徳島県支部様より、児童養護施設常楽園へ施設訪問料理提供ボランティアのご提供 ●四究会様より、特別養護老人ホーム喜楽苑へ車椅子のご寄贈 ●ドリームサーカス株式会社様より、福祉施設へ徳島公演（平日分）の無料ご招待

ありがとうございます

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

平成28年度

## ボランティア活動保険

全国200万人加入！！

補償金額（保険金額）		年間保険料（1名あたり）	
保険金の種類	プラン	タイプ	プラン
ケガの補償	死亡保険金	Aプラン	Bプラン
	後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術 65,000円	100,000円
		外来の手術 32,500円	50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
賠償責任	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額（保険金額）に同じ	
	葬祭費用保険金（特定感染症）	300万円（限度額）	
	賠償責任保険金（対人・対物共通）	5億円（限度額）	

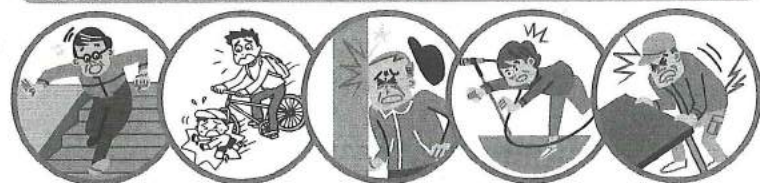
タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ（※） （基本タイプ+地震・噴火・津波）		430円	650円

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険 検索

（※）天災タイプでは、天災（地震、噴火または津波）に起因する被保険者自身のケガを補償しますが（天災危険担保特約条項）、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）  
送迎サービス補償（傷害保険）  
福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

●お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
引受幹事 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課  
TEL: 03(3593)6824  
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763  
営業時間：平日の9:30～17:30（12/29～1/3を除きます。）  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

これからも、いつまでも  
頼りがいのある銀行として、  
地域のみならずとも共に歩んでまいります。

ずっと、ここから。120  
阿波銀行  
http://www.awabank.co.jp/

環境にやさしい銀行を目指し  
環境保全活動に取り組んでいます。

徳島銀行  
http://www.tokugin.jp



サポートセンターパンフレット

これらの支援をするなかで、地域福祉の推進を行う社会福祉協議会の本来業務は何かという問題意識が職員間で醸成されました。ひとつひとつの課題解決に向けては、地域で継続して見守る体制づくりが必要であり、毎朝、ケース会議による情報共有や支援内容の協議を行い、相談者との信頼関係の構築に努めるとともに、各関係機関・団体とのより密接な連携を心掛けた支援を進めています。

徳島市社協では、生活に困窮している世帯を支援するために「徳島市生活あんしんサポートセンター」を設置し、仕事や生活の困りごと、悩みを抱える方の相談に対応する体制を整えています。仕事に就けず生活に困っている方には、就労支援員による相談。知人等からの借り入れや家賃、ライフラインの等の滞納がある方には、家計相談支援員が家計表やキャッシュフロー表等を作成し、家計の「見える化」を図り支援を行っています。



毎月開催される支援調整会議の様子

平成26年8月に発生した豪雨災害における支援経験を踏まえ、一般社団法人災害復興支援協議会タツシユ隊大阪と「災害ボランティアセンター運営支援等に関する協定」を締結し、発災時のボランティアのコーディネートや、平常時からの研修等の協力体制を構築しました。その一環として、地元海部高校生のボランティア活動の推進のため一人暮らしの高齢者に協力いただき、ケアマネージャーが受け付けた生活上での困りごとに直接対応する災害ボランティア入門講座を企画・実施する等、地域でたすけあい、住民が元気になるネットワークづくりを進めています。



海部高校 災害ボランティア入門講座



地域ふくし座談会

生活の困りごとを地域で見守る体制へ

社協の実践

ともに生きる豊かな福祉社会を目指して

地域でたすけあい元気になるネットワークをつくりたい

赤い羽根の新たなチャレンジが始まります

徳島県共同募金会



共同募金会では、多様な課題の解決に取り組む地域の活動をしっかりと支えるため、今年度から、全国一斉に新たな募金手法に取り組むこととなりました。

その一環として、徳島県では、「テーマ募金」と「百貨店プロジェクト」をスタートします。

1. テーマ（使途選択型）募金

地域の社会課題の解決に取り組もうとする団体が、共同募金会と協働して、その課題を解決する必要性や、自らの団体の取り組みについて、広く地域の皆さんに訴える方法で募金活動を行います。その事業や目的に対する理解と共感を得ることにより、地域の皆さんから寄付をいただき、その事業を実施し地域福祉の向上を図ろうとするものです。

来年1月から3月末まで、次の3つのテーマを掲げ各団体が募金活動を行いますので、ご支援・ご協力をお願いします。

募金名（事業実施団体）	募金の使途内容
知的障がいのある方とスポーツでつながるための活動募金 (スペシャルオリンピックス日本・徳島)	知的障がいのある人が、日常的にスポーツを楽しみ、健康を増進・維持することができるよう、スポーツトレーニングを実施する場所を確保し、スポーツ活動を支援する経費に充てます。
障がい者のメッセージを伝える「やまびこの詩」 (NPO 法人徳島県ボランティア協議会)	障がいを持つ人たちの願いや悩み、喜びや愛する人へのメッセージを広く伝えるため、障がいを持つ人の詩の朗読や障がい者福祉に関する寸劇などを発表する活動を行います。
生活用品等貸与（給付）事業 (社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会)	県内の生活困窮者の就職活動や一般的な生活の継続を目的として、生活用品（電化製品など）を無償で貸与又は給付する事業を行います。

2. 募金百貨店プロジェクト



この「募金百貨店プロジェクト」は、事業所等と共同募金会が一緒になって、事業所にとってメリットのある寄付つき商品や企画を作り、その売上の一部を寄付いただき、地域の福祉を向上しようとする取り組みです。

事業所にとっては、新規顧客の獲得やリピート率の向上、新たな広報チャンネルによる売上げの増加のほか、社会貢献や企業のイメージアップに繋がり、お客様は通常価格で負担なく購入することで、結果として自分の地域の福祉の向上につながるという「win-win」の関係を目指します。

企業の皆さん、どんな業種・規模でも、本業を活かした「寄付つき商品」を企画することができます。

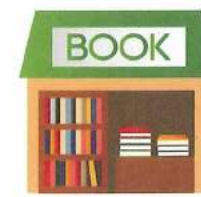
一緒に考えてみませんか？

まずは、徳島県共同募金会（088-652-0200）にお気軽にご相談ください。

取組例



- [レストラン・ホテル・旅館]
- ・指定メニューの注文で、1品につき5円寄付
- ・売店で販売する特定の商品1個につき10円寄付
- ・素泊まり1件につき294（ふ・く・し）円寄付



- [小売店（スーパー）・書店]
- ・スーパー：マイバッグ持参で、1会計につき1円を寄付
- ・書店：国語辞典・漢字辞典等、1冊販売につき売上の1%を寄付